

## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## 説明・結論 車のコミュニケーション



日本では自動車の運転免許を取ろうと思う人はたいてい自動車運転教習所に通う。そこで交通規則や運転の技術を教わるのだが、そこを卒業したからといって、それですべての学習が終わるわけではない。実際に街に出て走りながら身につける技術というものもある。運転手同士のコミュニケーションもその一つである。

コミュニケーションといっても、わざわざ運転手が窓を開けて大きな声で言葉を交わすわけではない。音と光の合図で会話するのである。例えば、狭い道などではヘッドライトを1、2回点滅させて対向車に道を譲り、譲ってもらった方はすれ違った時にクラクションを軽く鳴らす。また、無理に隣の車線に割り込んだ時には後ろの車に対してハザードランプを数回点滅させる。この3つは教習所で勉強する本来の使い方とは違うものである。しかし、実際にはこのように音と光を使って、「どうぞ」「ありがとう」「すみません」という気持ちを伝え合っているわけである。

コミュニケーションをするからには、どんな合図がどんな意味になるかお互いに共通した理解がなければならない。ところが、言葉と同様に誤解も起こるし『言い間違い』もある。「ありがとう」の意味でクラクションを鳴らしたのに、相手はそれを本来の意味にとって不快に感じることもあるし、軽く鳴らそうと思ったのに、うっかり力が入ってしまって「ブーッ」と鳴らしてしまうこともある。さらに面白いことには、この合図にも『方言』があるという。この点でも言葉によるコミュニケーションと同じというわけである。

このような合図は必ずしもしなければならないというわけではないが、上手に使えば快適に運転ができるし、車の流れもスムーズになるはずである。

免許  
教習所  
学習  
  
同士  
コミュニケーション  
わざわざ 交わす  
合図  
ヘッドライト  
点滅 対向車 譲る  
すれ違う  
クラクション 軽く  
鳴らす 無理に  
車線 割り込む  
ハザードランプ  
本来 ～合う

お互い  
同様 言い間違い

不快  
うっかり

快適 スムーズ



## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## ■ 本文設問

- (1) 運転手同士のコミュニケーションというのはどんなことですか。
- (2) 本文で紹介されている合図の使い方は、どうやって身につけますか。
- (3) 合図によるコミュニケーションと言葉によるものはどんなところが似ていますか。
- ◇ 本文の内容から考えて、運転が快適にできない場合、車の流れがスムーズにならない場合はどんな場合か考えてみてください。

## ■ 本文新出語 (★は文型で学習)

名詞	免許 (めんきょ) 教習所 (きょうしゅうじょ) ヘッドライト (たいこうしゃ) 対向車 (たいこうしゃ) クラクション (しゃせん) 車線 (しゃせん)
	ハザードランプ (はい) 言い間違い (まちが)
な形容詞	不快 (ふかい) 快適 (かいてき) スムーズ
名詞／動詞Ⅲ	学習 (がくしゅう) (する) コミュニケーション (あいず) (する) 合図 (あひず) (する)
	点滅 (てんめつ) (する)
動詞	(言葉を) 交す (かわ) (I) 譲る (ゆず) (I) すれ違う (ちが) (I) 鳴らす (な) (I) 割り込む (わ) (I)
副詞	★わざわざ (から) 軽く (む) 無理に (むり) 本来 (ほんらい) (お) 互い (たが) 同様に (どうよう) ★うっかり
その他	～同士 (どうし) (伝え) 合う (あ) (→ 関連語)

## [基本動詞の用法]

- ・(免許を)とる (～の意味に)とる (力)入る

## [自動詞と他動詞]

「鳴る I」／「鳴らす I」

- ・ベルが鳴る／を鳴らす
- ・目覚し時計が7時に鳴るようにセットする。

「(点滅)する」／「(点滅)させる」

注) 使役形を他動詞のように使う。

- ・ライトが点滅している。
- ・ライトを点滅させる。
- ・会社が発展する。
- ・会社を発展させる。



セット(する) (はってん) 発展(する)

## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## ■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 誤解\* 合図 無理に 譲る すれ違う とる\* 身につける\* 】 \* 印は既習

- (1) 廊下で( )時に軽く頭を下げてあいさつする。
- (2) 国によって習慣が違うので( )が起こることがある。
- (3) この袋はそんなに丈夫じゃないから、( )に入れると破れますよ。
- (4) 免許を( )ばかりなのでまだ運転は下手だ。
- (5) 最近は電車で席を( )若い人は少なくなったようだ。
- (6) 向こうにいる友だちに「こっちに来てはだめだ」と目で( )をしたが、気がつかなかったようだ。
- (7) 日本語を完全に( )て、国際会議の通訳の仕事をしたい。

## ■ 文型・表現

## 「説明・結論」の文型・表現

## (1) ～わけだ (※当然の結果、結論を述べる)

注) &lt;「わけ」=理由&gt;の意味で使われる場合

1. どういうわけでそんなことをしたのですか。
2. どうしてそんなことをしたのか、わけを聞かせてください。
3. ～。そういうわけで、行けなくなったんです。

## 1) (～から)・・・わけだ

(※どのような理由でそういう結果になったのかを説明する)

(※「～んです」と比べて、硬い表現になる)

(※L9「・・・のは～からだ」と同じ表現効果がある)

1. A「どうして女性のお客を対象にしたサービスを考えるのですか」  
B「それは、女性がお店に来れば男性も一緒に来るから、まず女性を対象にサービスを考えるわけです」
2. 登山では普通に坂を上るときとは疲れ方が違う。  
頂上へ近づけば近づくほど空気が薄くなる。  
だから、普通に歩くよりも何倍も苦しくなるわけだ。
3. 「あした試験があるんですよ。いままで全然勉強しなかったから、こうやって徹夜で勉強しているわけです」



## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## 2) (～と／～たら／～ば／～から)・・・わけだ

(※因果関係の全体を確認して述べる)

1. なるほど。これを押すと下から商品が出て来るわけだ。
2. 点数が60点以下だったら、もう一度テストを受けなければいけないわけですね。
3. こうやって袋を2枚重ねて使えば、破れないわけです。
4. この課が終われば、初級の復習と中級の基本的な文型と表現の学習が終わるわけだ。
5. 今、約千字くらい漢字を覚えたから、ちょうど小学校6年生のレベルにあたるわけだ。
6. この2つが終わったから、あとはこれをやってしまえばすべての作業が終わるわけだ。
7. 山田さんが来たから、これで全員がそろったわけだ。さあ、出発しよう。

## 3) (このように／つまり)・・・(という)わけだ

(※結論、まとめ：前の部分が何を意味しているのかを説明する)

注)「～のだ」と同じ用法

1. [説明文]。このようにして我が社は発展してきたわけです。
2. この部分を見てください。小さな穴がありますね。ここからネズミが出たり入ったりしていたわけです。
3. A「今回の作業は前回と違って非常に危険です」  
B「つまり、もう少し安全な方法を検討しなければいけないというわけですか」  
A「そのとおりです」

## (2) ～わけではない (※予想される結論の否定)

## 1) (～という)わけではない

(※会話では相手の発言を聞いて、自分の様子や直前の発言が相手に誤解を与えたと思ったときに「～わけではない」を使って説明する)

注)会話では「そういうわけではない」がよく使われる。

1. A「あなた、ずいぶんはっきり言いますけど、本当にそれを見たんですか」  
B「ええと、そういう(＝本当に見た)わけではないんですが・・・」
2. A「眠そうですね。つまらなかったら寝てもいいですよ」  
B「いいえ、そういう(＝つまらないから眠い)わけではないんです。きのう徹夜だったので・・・」
3. A「あなたは私の考えが間違っていると言うんですか！」  
B「いいえ、そういう(＝あなたが間違っていると言いたい)わけではありません」

## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## その他の文型・表現

## (1) 『わざわざ』 (※「(大変なことだから)なくてもいいのに」という気持ちが入る)

1. すぐ近くにポストがあるのに、山田さんはわざわざ駅前の郵便局まで行った。
2. 引越しの作業は一人でもできると言ったのに、ジョンさんはわざわざうちに来て手伝ってくれた。
3. 「わざわざスーパーまで行ったんですか。となりのコンビニでも売っているのに」

注) 会話ではそれをしてくれた人に対して感謝の気持ちを表す場合もある。

4. 「遠いところをわざわざ来てくださってありがとうございます」

## (2) 『うっかり』 (※無意識にする／注意が足りなくてしてしまったときによく使う)

→ ★L6「つい」、L10「思わず」

1. うっかり電車で傘を忘れてしまった。
2. 本を読んでいたら、うっかり電車を乗り過ごしてしまった。
3. A「どうしてこんな間違いをしたんですか」  
B「すみません。うっかりしていました」

## ■ 文型・表現練習

## (1) ～わけだ

1. A「どうしてブルーベリーをよく食べるんですか」  
B「ブルーベリーには目にいい成分がたくさん含まれているんです」  
A「パソコンを使う仕事で目がつくれますからね」  
B「ええ、だから\_\_\_\_\_わけです」
2. 「なるほど、インターネットのメールを使えば、文字だけでなく、  
\_\_\_\_\_こともできるわけですね」
3. [電車の中で地図を見ながら]  
A「ええと、今はここだから、次の\_\_\_\_\_」  
B「そうですね。次の駅ですね」



## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## 2) ～といっても・・・(という)わけではない

(※「～が・・・を意味するのではない」ということを付け加える表現)

(※自分が直前に話した／書いたことについて聞き手／読み手が間違った結論を出さないように自分から説明を付け加える)

1. 家を買ったといっても、そこに住むというわけではない。ほかの人に貸すためだ。
2. 事故を起こしたといっても、そんなに大きな事故というわけではない。ちょっと電柱にぶつただけだ。
3. レポートを書いたといっても、全部終わったわけではない。まだ下書きだから、これから清書しなければならないのだ。

注「～わけではない」の部分を言わないで、言いたい部分だけの場合もある。

4. 海外旅行に行くといっても、二泊三日です。  
(山田さんのように1週間というわけではない)
5. 財布を盗まれたといっても、中には小銭しか入っていませんでしたから。  
(大金を取られたわけではない)

## (3) ～からといって(いつも／必ずしも／みんな)

・・・とは限らない／というわけではない

(※部分否定:「～という理由があっても、いつも・・・という結果になるのではない」)

1. 梅雨だからといって、いつも雨が降るとは限らない。ほとんど雨が降らない年もある。
2. 法律に違反していないからといって、何でもやっていいというわけではない。マナーは守らなければならない。
3. 辞書に書いてあるからといって、必ずしもその説明が正しいとは限らない。
4. 同じ年に入社したからといって、みんなが一緒に出世できるというわけではない。彼らには厳しい競争が待っているのだ。

注「～とは限らない／わけではない」の部分を言わないで、言いたい部分だけの場合もある。

5. 相手が子供だからといって、油断していると負けるかもしれないよ。  
(必ずしも力がないとは限らない)
6. 大学に合格したからといって、遊んでばかりいてはダメですよ。  
(遊んでいいというわけではない)

## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

4. A「2千も漢字を覚えるのは大変ですね」

B「最初から2千と考えると大変そうに感じますが、1日5つずつ覚えれば1年とちょっとで\_\_\_\_\_」

A「それならできそうですね」

B「こうやって自分でカードを作って勉強するといいですよ」

A「なるほど。そうすれば電車の中でも\_\_\_\_\_というわけですね」

(2) ～といっても・・・(という)わけではない

1. 自分で料理を作るといっても、\_\_\_\_\_。  
たいていは休みの日だけです。

2. お金が必要だといっても、\_\_\_\_\_。  
来年の春に大学に入る時に入学金とか授業料を払わなければならないのだ。  
その時までにはなんとかしたいと思う。

3. \_\_\_\_\_、中古車です。新車は高くても買えません。

(3) ～からといって

1. 雑誌で紹介されたからといって、その店が必ずしも\_\_\_\_\_。

2. \_\_\_\_\_、必ずしも安全だというわけではない。

3. 車の事故の場合、その時は\_\_\_\_\_、病院に行かないと、  
後になって、首が痛くなったり、腰が痛くなったりすることがある。

(4) わざわざ

1. 山田さんに連絡したかったが、何度電話しても通じなかった。それで、わざわざ  
\_\_\_\_\_。

2. 学校に来てから、忘れ物をしたことに気がついて、わざわざ\_\_\_\_\_。  
\_\_\_\_\_。



## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## (5) うっかり

1. せっかく宿題をしたのに、うっかり\_\_\_\_\_。
2. 自動販売機でコーヒーを買おうと思ったのに、うっかり\_\_\_\_\_、紅茶が出てきた。

## ■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『誤解』：誤解した経験(自分のことでもほかの人のことでもいいです)を書きましょう。
- ・ 『失敗』：「うっかり」を使ってあなたが失敗した経験を書きましょう。
- ・ 『ボディランゲージ』：日本とあなたの国とで異なる意味になるものがあれば教えてください。

注) 関連語を参考にしてください。

## ■ 関連語の学習 (下線は新出語)

1. 体を使ったコミュニケーション(あいさつ、ボディランゲージ)

- |               |                   |                    |
|---------------|-------------------|--------------------|
| ・ おじぎをする      | ・ <u>握手</u> する    | ・ <u>抱き合う</u>      |
| ・ 手を合わせる      | ・ 下／横／上を向く        | ・ 首を横／縦に <u>振る</u> |
| ・ 手を振る        | ・ 手を(あご／頭の後ろ)に当てる |                    |
| ・ <u>うなずく</u> | ・ <u>脚</u> ／腕を組む  | ・ <u>ウイंक</u> する   |

## 2. 「～合う」の単語

- |                |               |                |
|----------------|---------------|----------------|
| ・ <u>話し合う</u>  | ・ <u>言い合う</u> | ・ <u>語り合う</u>  |
| (→「討論」)        | (→「口げんか」)     |                |
| ・ <u>見つめ合う</u> | ・ <u>抱き合う</u> | ・ <u>愛し合う</u>  |
| ・ <u>付き合う</u>  | ・ <u>助け合う</u> | ・ <u>なぐり合う</u> |



## 第20課 説明・結論 車のコミュニケーション

## ■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：スピード違反 <sup>いはん</sup> 取り締り <sup>としま</sup> オーバー(する)

答            1                    2                    3                    4